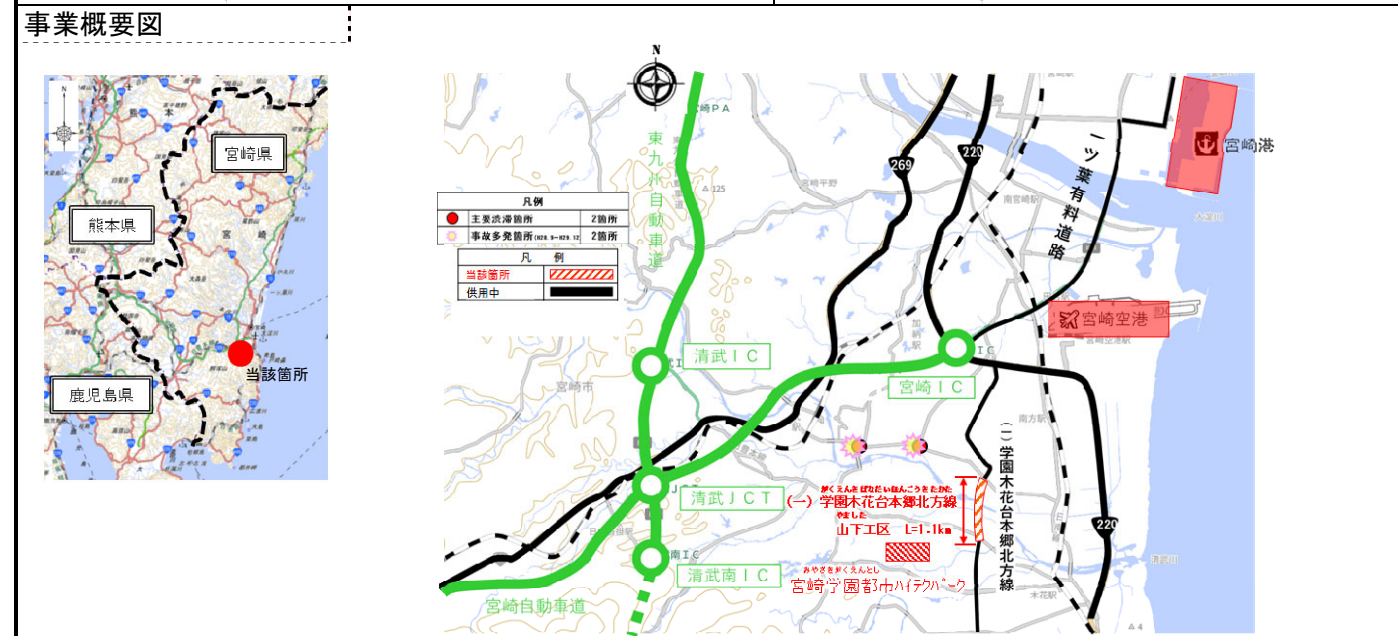


新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課  
担当課長名：荒瀬 美和

事業の概要

事業名	空港・港湾等アクセス 一般県道 学園木花台本郷北方線 山下工区	事業区分	地方道	事業主体	宮崎県
起終点	自：宮崎県宮崎市大字熊野 至：宮崎県宮崎市大字郡司分	延長	1.1km		
事業概要	一般県道学園木花台本郷北方線は、宮崎学園都市の中心部を起点とし、主要幹線道路である一般国道220号とを結ぶ延長約4.5kmの路線である。本工区の整備は、宮崎市内へのアクセス強化、緊急輸送道路としての防災機能の強化、空港・港湾や高速道路のインターチェンジへのアクセス向上などに大きく寄与する重要な道路である。				
事業の目的、必要性	山下工区は、学園木花台本郷北方線の唯一の未整備区間であり、現在、宮崎学園都市ハイテクパークから宮崎空港や宮崎港へのルートは主要渋滞箇所を通行するルートとなっている。そのことから、新たなルート整備を行うことで、宮崎学園都市ハイテクパークから宮崎空港・宮崎港へのアクセス向上、主要渋滞箇所の回避による安全・安心な道路交通の確保を図る。				
全体事業費	5.6億円	計画交通量	9,300台/日		



関係する地方公共団体等の意見  
宮崎市より改良促進及び予算枠の確保を最重点として要望されている。

学識経験者等の第三者委員会の意見  
宮崎県公共事業評価委員会より、本箇所の新規着手は妥当と答申されている。

事業採択の前提条件  
費用対便益：便益が費用を上回っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	3.1	総費用：40億円 事業費：40億円 維持管理費：0.24億円	総便益：126億円 走行時間短縮便益：106億円 走行費用減少便益：17億円 交通事故減少便益：2.6億円	基準年 令和2年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=3.4 (交通量 +10%)	B/C=2.8 (交通量 -10%)		
		事業費変動	B/C=2.8 (事業量 +10%)	B/C=3.5 (事業量 -10%)		
		事業期間変動	B/C=2.8 (事業期間 +20%)	B/C=3.3 (事業期間 -20%)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	通過交通の転換により混雑が緩和 【交通渋滞の緩和】 ・主要渋滞箇所回避による交通安全性の向上		
		事故対策	◎	通過交通の転換により交通事故が減少 【交通事故の減少】 ・事故多発箇所回避による交通安全性の向上		
		歩行空間	○	歩道整備により歩行者の安全確保		
	社会全体への影響	住民生活	○	第三次救急医療施設「県立宮崎病院」へのアクセス向上		
		地域経済	◎	走行時間短縮により、輸送時間の短縮が期待され、宮崎学園都市ハイテクパークから宮崎空港・宮崎港へのアクセス向上による物流ネットワークが強化		
		災害	○	第1次緊急輸送道路の整備による防災機能の向上		
		環境	-	注目すべき影響はない		
地域社会		-	注目すべき影響はない			
事業実施環境	○	宮崎市より改良促進を要望されている				

採択の理由

事業主体である宮崎県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が3.1と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、主要渋滞箇所を回避することでの渋滞緩和や宮崎空港・宮崎港へのアクセス性向上が図られるなど、当該事業の整備の必要性、効果は高いものと判断される。  
以上により、本箇所は令和3年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。